

令和5年産 麦類技術情報 第1号

令和4年12月26日

宮城県美里農業改良普及センター

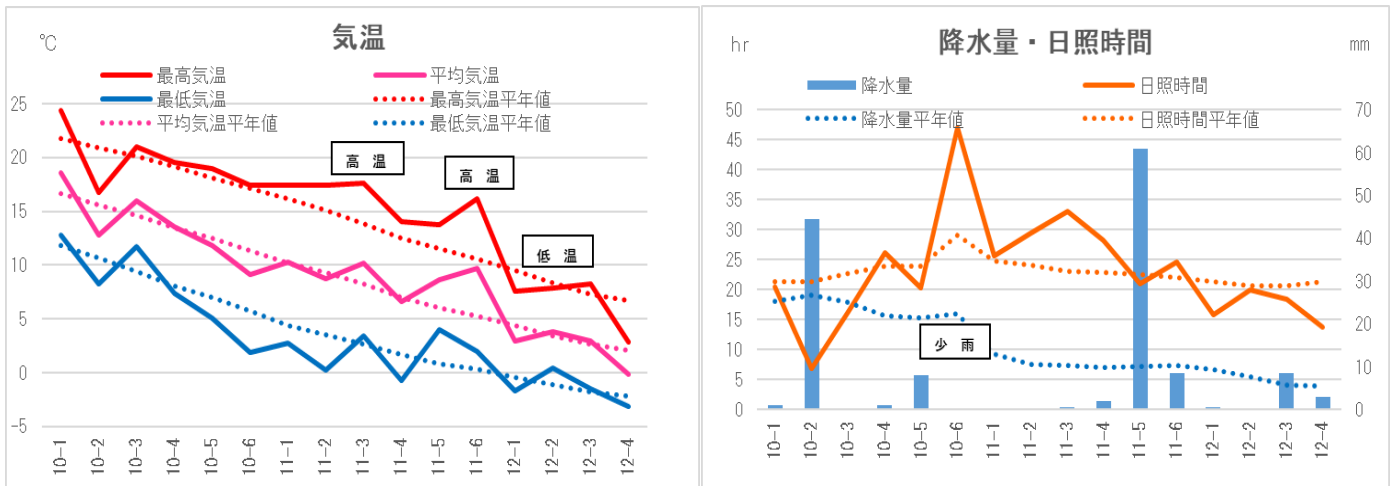
TEL 0229-32-3115 FAX 0229-32-2225

URL <https://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/>



生育状況やほ場条件を確認し、積極的に麦踏みを実施しましょう！

1 気象経過 (10月第1半旬～12月第4半旬：アメダス鹿島台)



最高気温は10月第3半旬～11月第6半旬まで平年より高く経過しましたが、最低気温は平年より低い期間が多く、寒暖の差が大きくなりました。

日照時間は10月第4半旬～11月第6半旬は平年より多い期間が多く、降水量は、一時的に大雨となった期間があるものの、期間全体では少雨で推移しました。

2 生育調査ほ生育概況

表 小麦生育調査結果

地区名	品種	播種量 (kg/10a)	条間 (cm)	播種日			12月15日調査					
							草丈			茎数		
				本年値	前年差	平年差	本年値	前年差	平年差	本年値	前年差	平年差
大崎市 鹿島台	シラネコムギ	11	25	10月14日	71日早	23日早	11.9	165%	209%	996	803%	178%
涌谷町	夏黄金 (採種ほ)	10	22	10月28日	7日早	9日早	10.3	123%	141%	318	141%	104%

※平年値は過去5か年の平均値を使用。

※シラネコムギの播種日の平年値は、降雨により大幅に遅れた前年を除いた4か年の平均

10月3日播種のシラネコムギでは、降雨により播種が遅れた前年より70日以上播種が早くなり、出芽は良好で、草丈、茎数とも前年及び平年を大きく上回りました。10月28日播種の夏黄金も出芽は良好で、草丈、茎数とも前年及び平年を上回りました。

今年度は播種時期の降雨が少なかったことから、播種作業は順調に進みました。一般ほ場は、11月上旬頃までに播種したほ場では葉数が進んでおり、年内に麦踏み実施可能な生育のほ場が多く見られます。大豆後作の麦は、大半は12月上旬までに播種が終了しましたが、その後の降雨により、排水不良のほ場では出芽の遅れもみられます。

3 今後の管理について

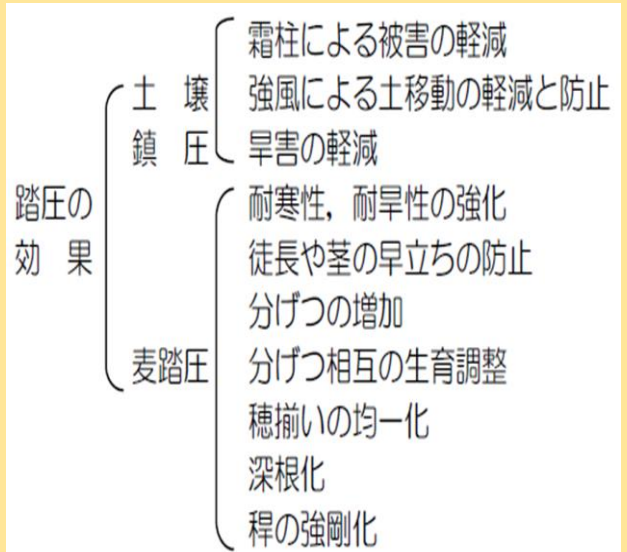
(1) 麦踏み：離乳期に達したほ場では積極的に実施しましょう。

○効果

・乾燥，強風，暖冬時に高い効果。小麦より大麦，地力の低いほ場で効果が高い。ただし，過湿条件や重粘土壌では逆効果の場合も。

○作業時期と回数

・離乳期（3～4葉期）から茎立ち前まで（主稈長2cm，幼穂長2mm程度）。
・越冬前（凍結層ができる前）に1回，越冬後に1～2回実施。
・早播きや伸びすぎ，軽しろう土ほ場，暖冬年には大きな効果が期待できるので回数を多く実施（遅播きや過湿ほ場は，作業前に生育状況やほ場条件を確認する。無理はしない）。



(2) 排水対策：麦作の基本です。しっかり対策しましょう。

過湿条件では，根の伸長抑制や浅根化による分けつ減少，葉の黄化等の障害が発生するため，麦類では排水対策が重要です。また，麦踏みや追肥等の作業を適期に行うためにも，しっかりと排水対策を実施しておくことが大切です。

☆ほ場を巡回して水が停滞する場所が無いか確認しましょう。

☆明きよの状態を確認し，円滑に排水できるよう手直しをしましょう。

4 東北地方1か月予報（12月24日から1月23日）

向こう1か月は，東北太平洋側では，平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は，低い確率が40%（週別は下図参照）で，特に2週目（12/31～1/6）の低い確率が50%と高くなっています。

東北太平洋側の降水量は，平年並の確率が40%，日照時間は，平年並の確率が40%です。

